

寒川支部ボウリング大会(寒川セントラルボウル)



寒川支部のボウリング大会が開催されました。競技結果を基にグループ分けを行いそれぞれ表彰しました。

- | | |
|--|---|
| <p>〈男性〉Aグループ</p> <p>1位 青笹 善治氏 (賛助会員)</p> <p>2位 多賀 弘光氏 (株湘南ユニテック)</p> <p>3位 佐藤 友人氏 (株湘南ユニテック)</p> | <p>〈男性〉Bグループ</p> <p>1位 久保田哲也氏 (株湘南ユニテック)</p> <p>2位 樋口 恭二氏 (三洋興産南)</p> <p>3位 廣田 顕司氏 (株サンエーサンクス)</p> |
| <p>〈女性〉Aグループ</p> <p>1位 太田 尚子氏 (株湘南ユニテック)</p> <p>2位 新倉 順子氏 (株西湘土木)</p> <p>3位 金子 幸代氏 (神奈川物産株)</p> | <p>〈女性〉Bグループ</p> <p>1位 廣田 孝子氏 (株西湘土木)</p> <p>2位 長谷川成美氏 (株土喜土喜キッチン)</p> <p>3位 梅津 京子氏 (株土喜土喜キッチン)</p> |

青年部会租税教室

11/5 寒川町立旭小学校 6年生 3クラス 111名



1/14 藤沢市立鵜沼小学校 6年生 5クラス 165名



2/5 藤沢市立善行小学校 6年生 3クラス 73名



青年部会と女性部会では藤沢税務署管内の小学校を対象に租税教室を開催しています。今回は藤沢市内と寒川町内の小学校3校で、税金の使われ方等、税についての授業を行いました。

医療百話

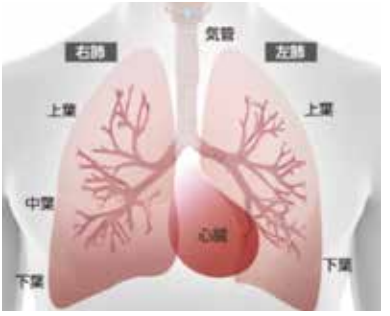
湘南藤沢徳洲会病院
呼吸器外科 部長
横田 俊也

近年の肺がん手術について

●肺癌の早期発見と治療の重要性
日本の肺癌の罹患患者数は、2020年には120759人で癌の中では3番目です。肺癌による死亡数は男性1位、女性2位、総合1位で、2020年の1年間に75585人が亡くなりました。肺癌全体の5年生存率は34.9%ですが、癌による死亡のみを考慮した5年生存率は早い病期のI期では83.5%です。このことから、肺癌は進行すると治りにくい癌ですが、早期に治療を受ければ治療が見込まれます。

肺がんは特有の初期症状がないことから、早期発見のためには定期的ながん検診を受けることがとても大切です。

肺は左右の胸腔(箱のような胸の空間)にひとつずつ入り、右肺は上葉・中葉・下葉の3つ、左肺は上葉と下葉の2つの肺葉に分かれます。



肺がん手術(肺切除)には、片側の肺を全て摘出する片肺全摘術、二つの肺葉を切除する二葉切除術、一つの肺葉を切除する肺葉切除術、肺葉の一部を切除する区域切除術と部分切除術があります。肺癌の標準術式は、がんの含まれている肺葉を丸ごと切除する肺葉切除以上を行うよう推奨されてきました。近年では、癌が小さいうちに早期発見される方が増えた事や最新の臨床研究などから、肺切除を縮小する機会が増えています。つまり、肺葉切除ではなく、切除する肺を縮小した区域切除が選択されるケースが増えています。肺切除を縮小することで、患者さんの負担軽減となり、呼吸機能温存や早期回復が期待されます。

肺は心臓と血管でつながっており、血管に対する操作が必要なたため精度の高い手術技術が必要です。肺は生命維持にかかわる臓器であるため、綿密な治療計画が必要になります。

